

東日本大震災ルーテル教会救援

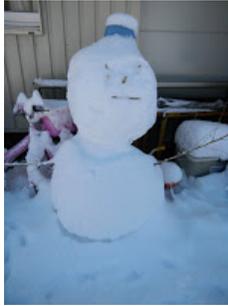
Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】



ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.15

2013年1月度 活動報告 (2013年2月26日発行)

東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



今年のとらびとの活動は1月8日より開始いたしました。開始からほどなく、14～15日には大雪となり、石巻から仙台までの移動に久しぶりに長い時間がかかりました。そんな雪の中にも関わらず、開催したお茶会にはたくさんの方が足を運んでくださり、被災地の皆さんがお茶会を楽しみにしてくださっていること、その向こう側にある仮設暮らしの寂しさや、日々の単調さを感じました。2013年1月の活動を報告いたします。



【とらびと】被災地のお正月



昨年のお正月は「静かに過ごします」とおっしゃられていた方が多かったですが、今年は年末に「お正月飾りを飾ろうかな」「鏡餅を用意しました」という声も聞こえていました。毎年恒例のどんと祭にも参加された方も多かったようです。横浜英和小学校の子どもたちが作ったへびの置物も、喜んで受け取って下さいました。

【とらびと】雪の日の風景



例年に比べ、雪の多い冬になっています。仮設ひびき工業団地でお伺いしたお話では、雪が降ると住民の男性が張り切って、朝早くから雪かきに出てこられるそうです。仕事が充分でない中「なにかをしたい」という気持ちが溢れている人が多いのではないかとおっしゃっていました。仕事や家など基本的な復旧も道半ばです。

【とらびと】書籍紹介



“スワン国際協力の会”の代表として、また震災後に全国から寄せられる花を被災者に届けたり、町に花畑を作るなど、積極的に活動を続ける千葉直美さん。そんな直美さんは、文才にも恵まれ、震災後に出版された市民の記録、『震災の石巻—そこから』『震災の石巻—再生への道』で詩を披露、また絵本『井戸水とお父さん』（いづれも創風社）に、お父さんを震災で亡くした女の子を励ますようなお話を綴られています。

【とらびと】1年前を振り返って：2012年1月



あっという間のような、長かったような・・・の一年。スタッフ同士で振り返ると、「そんなことがあったね」と思い出すことも多くなってきました。昨年の1月には、アメリカの青年が長期ボランティアに来てくれていました。そして震災から初めての海苔やわかめのシーズン。どのくらい復旧・復興できるのか不安の中での再スタートでしたが、海苔もわかめも順調に成長し、浜の皆さんに笑顔を運んで来てくれていました。

【お知らせ】被災地関連商品



気仙沼市・本吉町を訪れた折、KEPPAPPEの方が支援している仮設天ヶ沢団地のおばあちゃんが作っている五円玉の入った亀のストラップを紹介いただきました。



材料費程度で販売できれば・・・とのことでしたので、ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。また、今年も美味しいわかめのシーズンが始まりました。問い合わせ先：佐々木 (j-sasaki@jelc.or.jp)